

# 公孫樹

2020年8月発行

第103号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726

## 東門落慶の御礼

七月三十一日、東門の開門式法要が、檀信徒、関係者総勢五十余名の参詣をいただいて無事、成満させていただきました。

法要に際して当初、「母親への感謝状」構想がありました。母親に、思いのたけを話してもらったら…とも考えていたのです。この構想は、母親からの「前にできることはやめとくわ…」との一言で断念することになりました。そこで、この紙面にて「感謝状」を贈らせていただき、一言をどうぞ…とお願いしたわけです。

### 感謝状

前島栄子殿

おかげをもちまして東門と高塀の修復・整備が整いました。ありがとうございます。この間の奇跡を越えた出来事を私たちは忘れないでしよう。すべてを受け入れることに始まって、あなたが気づいた感謝と思いやりと布施の心。あなたの一言や振る舞いから、私たちは、どれだけ多くの学びをいただいたことでしょうか。どうか、これからも健康増進に努められ、念仏を通して永遠の「いのち」を得られることを祈念し、ここに感謝状を贈ります。(遊びです)

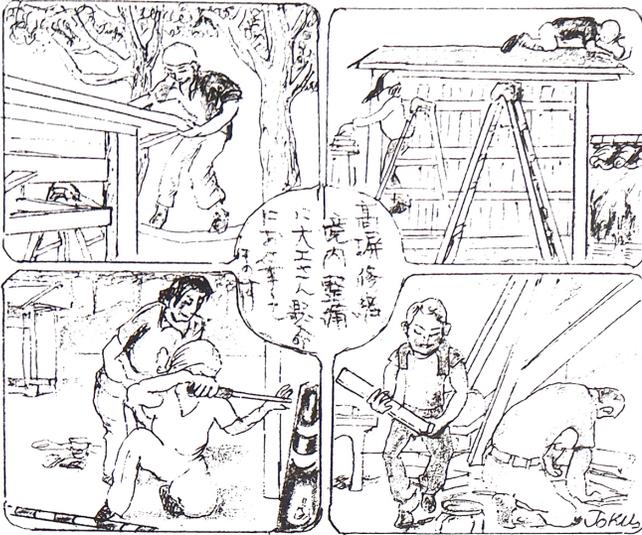
令和二年七月三十一日

住職 格也

### 母親からの一言

お恥ずかしい話です。私は毎日、大変な介護をしていただき、今日の日を迎えることが出来ました。ありがとございます。開門式は、明るく、晴天に恵まれ感謝しました。これも仕事を請負って下さった現場の方々、色々と気を使いアドバイスを下さった寺世話人の方々のおかげです。また檀信徒の方々、私どもの勝手を見守り、今日も大勢の方々がお参り下さったこと、何よりも嬉しく、喜んでおります。慶蔵院の庭が、ますます楽しく幸せを呼びよつとご念じ、あらためてお礼申し上げます。皆々様、ありがとございます。

合掌



慶蔵院東門建築作業

西里定一

# 8月の行事予定

2日(日)～8日(土)	初盆参り	日時を申し込んで下さい
9日(日)～14日(金)	棚経参り	日程表をご覧ください
15日(土)	盆施餓鬼 塔婆回向	午前9時～初盆のお家の塔婆回向 午前10時～初盆家以外の 塔婆回向
24日(月)	地藏盆・ 初盆精霊送り	午後6時～本堂にて法要 午後7時～境内にて浄焚
10日・24日(月)	華道教室 講師 山室千峰先生	午後1時～4時半 山村御流の生け花教室です。
予約があれば水曜日	キサン シンキングボウル ヒーリング	午後1時～ 要望に応じて30分～60分

※8月は、写経・映画会・念仏会・読経会・戦没者慰霊・男性詠唱隊・英語教室・茶道教室・健康教室は、お休みです。

## 慶蔵院 お盆の行事

8月2日～8日 初盆参り

8月9日～14日 棚経参り

### 棚経についてのお願い

寺世話人さん三役と検討させていただき、東京在住の副住職 信也には、お盆に帰省しないようにと伝えました。棚経を住職一人でご自分でやるかについても、寺世話人さんが検討してくださり、二人で担当して行っていた10日～13日のお檀家さんの棚経は、午前午後、交代して車の運転をして助けてくださることになりました。したがって日程表には予定時刻は書いてありません。一人で回らせていただきますので、例年に比べ時間がかかると思います。申し訳ございませんがご理解よろしくお願い致します。

尚、下小俣の棚経に関しましては、住職一人で歩いて回らせていただきますので、すい分時間がかかってしまうことでしょうか。午前、午後とだけ決めて、時間のスケジュールを組みませんでした。よろしくご協力お願いいたします。(日程表をご覧ください、ご都合の悪い方はご連絡ください。)

8月15日 午前9時～初盆のお家の塔婆回向  
午前10時～初盆家以外の塔婆回向

8月24日 初盆精霊本送り。初盆の方は午後6時に本堂にお参り下さい。  
本堂と地藏堂にそれぞれ1000円を志納お願いします。

※初盆精霊灯籠をお祭りされた方は、24日午前中に慶蔵院に届けてください。夜の初盆精霊送りに浄焚させていただきます。



## S書のドドドラマが本になりました!!

### あまりめたら、何も起らない

創設活動の先にあつた夢の舞台 ②



結局、6人いたメンバーは自分ひとりだけになった。ほかの5人は、すでにある別に部活へ散っていった。大人から厳しく「NO」と言われるのが初めてだったヤツもいるし、しょうがない。

自分ひとりでもできることはある。

なんとかして野球部を作りたい。

まず、グラウンド探しからはじめた。学校や家の周辺に空き地を見つけては、その近所の人に「この土地の持ち主は誰ですか」と聞いて回った。持ち主がわかると、すぐに交渉し、断られることが続いた。

でも何件かあたっていくうち、野球好きのおじさんが所有する内野サイズの土地を貸してくれることになった。

土地は荒れていたけれど、整地するのは苦にならなかった。肉体的にはキツくても、それもトレーニングの一環だ。

身長以上の竹みだいな草には、大きめの鎌をバットに見立て、スイングの軌道でスパットと切り込んでいく。低い草は地下足袋を履いてスクワットの体勢で刈り、太ももが太くなった。

強豪校の選手が土嚢を背負ってランニングするように、土地に土を運び入れるのががんばった。

ようやくグラウンドらしくなったころ、悲劇が待っていた。

最大規模の台風が来て、浸水したのだ。グラウンドの土から倉庫の野球用具にいたるまで、すべてがさがされました。泣きたくなった。

また別の場所で、グラウンド候補の空き地を探した。持ち主に了解をもらい、同じように整地を進める。

ところが、行き違いがあつて、大家さんが「こんなはずではない」と怒ってしまった。このことは学校がわにも伝わって、先生に呼び出されて怒られた。

結局、専用グラウンドは持てなかった。代わりに、軟式でプレーできる公園などを片っぴしから調べあげ、とうにか週に数日、外で練習できるメドは立った。

もちろん、学校を説得することだってあまりめしていない。

学校に「提案書」として出す資料を作った。野球部があるメリット、具体的な部の運営プラン、コストをかけない方法など、思いつくかぎりノートに書き出す。

そして、中学時代にお世話になった学習塾に行き、先生が使っていないパソコンをお借りして清書する日々。作っては出し、作っては出し。何度も手を加えて、少なくとも10回は提出した。

最初は担任や学年主任、生徒会主任の先生に渡していた。「読んでおく」とは言われるけれど、本当に読んでくれるかはわからない。

最終的にはもう、校長先生に直接渡した。これは別の先生に注意されたけど。

結局、資料の完成版は、A4サイズで40ページになった。

その間も、野球の練習は欠かさない。今は自分ひとりだけど、いつかは9人そろってはすだ。その日が来た時には、ほくが中心となって打線を引っ張り、どのポジションもまもれないといけない。

(つづく)



# 西瓜は

外から見ただけでも

あからぬ

切つてみればあからぬ

切つて見ただけでも

あからぬ

食べてみればあからぬ

人間も色だけはよくても

夫へてみればあからぬ

味のわるいのが多い

中野喜喜貞上人

どうしたら人間としての味がついてくるのだろうか。外見を繕っていても、そんなものはすぐに剥かれてボロが出る。世間の評価を気にしていると、取ってつけたような味になってしまいがちである。

先日、檀家さんのAさんから手作りの「いばらまんじゅう」をいただいた。もちろん餡も小豆から炊いた手づくりの餡。あまりの美味しさに、一度に五つもいただいた。

この方は長くご主人の介護をされており、喜んで食べていたことが生きがいで、これが自分元気の秘訣。主人のおかげで笑っておられた。

母のこと。

「私は、もう、何もできない体になってしまった。みんなに助けられて今を生きている。介護する人は、介護される者より、ずっと大変…。毎日感謝して、こうやってみんなに助けられて生かされている。」ありがたいことや言い出してから元気になってきた。奇跡だ。奇跡以上だと思った。

今朝も起きてきた母親が、台所の椅子に座るなり、喋り出した言葉に驚かされた。「まだ生きよ、もっと生きよと蝉時雨」もうちよっと生かせてもらおうか…とつぶやいた。

これからもずっと何も無いようにと願って、結界のような高塚となって、将来を見守っていきたい…と考えていようと思えてくる。